

447

糖と果味の類はあつたが、ゴミ捨て罐の飲料水
とは大口の樽度が無い。要するに、却キヤンブ官軍
事實任者が今日迄怠つてゐる事と暴露した事だけ
は明瞭だ。責任者の狼狽振りが見えて微笑せざる
と得ない。

昨日午前、田中ドラマーの金貨と持、病院へ渡暢
ルおかげの通り、自分で買ったが、何分にも茲
お向手食外には、食料らしき物を口に仕え
ない。直にはちと猛退を脱腔に腔筋の緊張
を待たつ間、ベッドに臥して午迄、病院で過した。
此の間、岡崎、ヤ野、及び坪井諸君と雑談に耽
つた。病院の設備は大体良い様であるが、病室内を
銃撃つ兵が往き来するのを目撃した時は、実に不
愉快な感に打たれた。岡崎君等は食事の粗糲
を不満に言つた。だからんと腹鬱と場所
には厚着でよい限り、長く居られるものでけり。

八月六日(木)

早朝の涼気は立秋の思ひ深さものである。蓋し
幸地方の暑熱も七月からして、もう一、二週間も
はらた分畢に或るだらう

午前九時頃、先般来喧傳されてゐる物にハ
十名の同胞来着。初めは、ウサコンシ／からだが牙
はNew Mexicoだ、この方からた等々凡て勝手な想
像談に矢張りかつたが、全員 Fort Missoula から

お着
来者

448

の同胞である。オレゴン組では、松島島長及び
倉西政一両者のせいで、やむを得ずのせ取り残された。
シヤトルからの友人中には、浅場、中村幸トシ、中村
進幸(定)、堀田胡氏、戸部(古尾支那に人)、高橋
福光、棚本有貴、西崎、精村(大北師創所)、
平尾日光樓主、伊藤、バナム葉店等の諸君が
らる。未だ他にも居る筈にか、オレゴン組の
諸君はH Areaに収容されているから、一定時間
以外には往復は限られている。

八月七日(金)

終日凌ぎ易い。

昨日米軍の一斉に對する武裝の護衛は、僕らオ一先
費隊に對するものと較べると、極めて緩慢といへ、武裝
兵数は非常に減じられていたと同時に、例の軽機関
銃の姿を見なかった。

夜 J Areaで映画。松島及び倉西両君来
訪、オレゴン組と周會更に旧交を温め、両者の
談話を特、合すると左の如くである。

Fort Missoulaには松島君一斉移動後は僅
か、五、六名が残つておる筈だが、冗談によると
彼等残留者諸君は其の殆んど全部は、release
者には Parole となる Probability を次で豫想
される所、何れは Evaluation Center へ釋放
の身になるかも知れない。オ一先費隊の移動後に